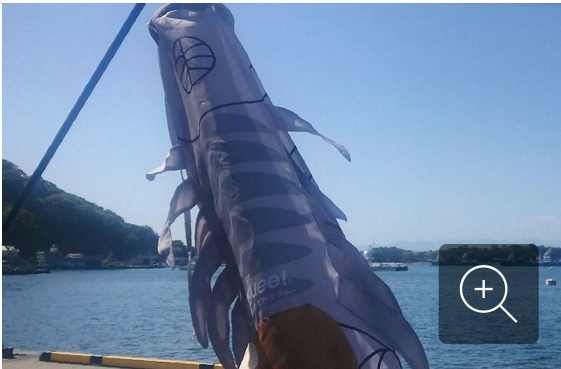


深海の掃除屋「オオグソクムシ」が春の大空に 静岡・沼津

社会 | 速報 | 静岡

毎日新聞 | 2021/4/21 16:15(最終更新 4/21 16:16) 425文字



戸田の海をバックに空を泳ぐオオグソクムシのぼり
＝静岡県沼津市戸田で2021年4月19日午後、石川宏撮影

日本一深い駿河湾の深海魚漁の本拠地、静岡県沼津市戸田（へだ）の深海魚情報発信拠点「ヘダトロール」に変わり種こいのぼり「オオグソクムシのぼり」が掲げられた。本来は水深150～200メートルの海底にすむオオグソクムシが春の青空を泳いでいる。

ヘダトロールを任せられ、戸田の深海魚を家庭に届ける「深海魚直送便」を手がける青山沙織さん（39）が発案。干物のぼり、アマビエのぼりなど数々の変わり種こいのぼりを作った沼津市のオフィスグルーが制作した。長さ約1メートル、幅約50センチ。何でも食べる「深海の掃除屋」のキモかわいい姿を再現した。



ヘダトロール軒先に掲げられたオオグソクムシのぼり
＝静岡県沼津市戸田で2021年4月19日午後、石川宏撮影

戸田漁協直売所の一角にあるヘダトロールは深海生物を展示する水槽があり、本物のオオグソクムシもいる。青山さんは3月までの3年間、地域おこし協力隊員として戸田で活躍し、そのまま定住した。青山さんは「海あり、山あり、自然が豊富な戸田が元気になるよう、深海魚のこと、地域のことをこれからも発信していきたい」と意欲的だ。【石川宏】

プレミアムプランに長期割引の新コースが登場！ ひと月あたり880円オ

詳細はこちら

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.

プレミアムプランに長期割引の新コースが登場！

ひと月あたり880円オ

詳細はこちら